

【八戸市委託事業】

令和6年度大学資産を活用したアートの学び事業

アクセシビリティ Accessibility 向上実践会議

アクセシビリティとは＝利用のしやすさ

「美術館の魅力を知ってほしい」「あの人にも美術館を楽しんでほしい」など、さまざまな思いがある人たちにご参加いただき、「美術館に来てもらうためにはどうしたらいいのかな?」「どうやったらもっと多様な人たちが集う美術館になるのかな?」など、参加者自身で体験し、課題を出し合い、その解決策を共に考え実践につなげるワークショップを実施します

参加無料 全3回 ※すべて参加できなくてもOK

1. 10月18日(金) 18:30～20:30
2. 11月16日(土) 13:30～15:30
3. 12月7日(土) 13:30～15:30

定員 30名 ※先着順、定員になり次第締め切ります。

会場

八戸市美術館
1Fスタジオ



【八戸市委託事業】 令和6年度大学資産を活用したアートの学び事業

Accessibility向上実践会議

プログラム

第1回 誰もが利用しやすい美術館とは？

アクセシビリティの基本的な考え方を学んでから、八戸市美術館を観察してみよう！

第2回 美術館の利用のしやすさを考える①②

第3回

車椅子を利用する方や、外国人の方にインタビューをして、美術館を利用しづらい人の想いを聞き「利用しやすくするための案」をみんなで考えてみよう

講師

大谷 郁 氏



東京都庭園美術館 学芸員
東京藝術大学特任助手として大学と美術館の連携事業「とびらプロジェクト」に従事し、美術館での共同的な学びの場づくりに関心を持つ。2020年より現職。学校との連携の他、障害のある方や乳幼児と家族、外国にルーツがある人々など、様々な対象に向けたプログラムの企画に取り組む。

お申込み フォーム



申込み締め切り 12月5日(木)

<https://qr.paps.jp/AKRzx>

美術館が好きな方や美術館の取組に興味がある方、どなたでもご参加ください。外国人の方も大歓迎！やさしいにほんごでお話します！

<お問合せ先>



八戸学院地域連携研究センター

☎0178-25-2789

✉research@hachinohe-u.ac.jp

